

## 早稲田大学 商学部 政治・経済 講評

### 〔総合分析〕

出題形式	マーク式・記述式併用
試験時間	60分
特徴・その他	ここ3年,大問4題の出題形式が5題に変更。政治・憲法分野から2題,経済・社会保障分野から3題出題されている。難易度は例年並み

### 〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	安全保障政策と平和主義	国際社会と安全保障体制,憲法9条とわが国の平和主義・有事法制をめぐる論議など時事問題を含め,幅広く出題されている。国連の安全保障体制については,2000年度にも商学部で出題されている。平和主義と憲法9条の憲法改正は近年,活発に論議されている。有事法制関連三法案の立法の動きは今後とも要注意。	標準
II	最高裁判所と違憲審査制	わが国の違憲審査制に関する問題。問2はやや難問。資料集などには5件しか掲載されていないが,2002年の郵便法規定の違憲判決を含めると6件となる。問3は裁判官弾劾法4条に規定あり。本分野については,法学部(02),教育学部(01・98),社会学部(00)でも出題されている。	標準
III	比較生産費説・国際貿易	国際貿易,比較生産費説に関する問題。問4(1)~(3)は問題文に注意。「各1単位生産するのに必要な労働者数」(たとえば労働者数)とある。具体的な数値をあてはめて考えるとわかりやすい。	やや難
IV	消費者問題	消費者問題(消費者行動)。空欄補充の問題は空欄の前後にヒントがある。問3は設問表現がやや大雑把。推測するしかない。	やや難

V	人口問題・高齢化社会	人口問題・高齢化社会,老人医療費,介護保険。時事的問題を含めよく出題される分野。日本の社会保障制度については商学部(99),政経学部(98),法学部(98)で出題されている。	標準
---	------------	---	----

### 〔総合コメント〕

各大問ごとに難問は散見するが基礎力があればさほど難しくはない。いずれの大問も近年,他学部でも出題された分野である。従って,過去問には必ずあたっておく必要がある。なお,有事法制関連 3 法案や憲法改正の動きについては,論議がますます活発化すると思われる。国会の動きなどにはじゅうぶん注意する必要があるだろう。